

第2回 加賀市緑の基本計画策定委員会 議事録

1. 日 時 令和2年6月16日(火) 10:00~12:00

2. 場 所 Webex によるリモート会議

3. 出席者 委 員 6名

(委員長) 鏑 隆 弘

(委 員) 中西 佳代子

三島 由樹

田畑 智日

辻 寛 子

宮永 久美子

事務局 4名

加賀市建設部都市計画課

4. 次 第

1. 開 会

2. 建設部長あいさつ

3. 議事

1) 水と緑の将来像

2) 施策の方針

4. その他 今後の予定

5. 閉 会

5. 傍聴者 なし

6. 議事内容

◆事務局

本日は、新型コロナウイルス禍の対策ため、リモート会議にて開催することとなったにも拘らず、皆様にはご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

只今より、第2回加賀市緑の基本計画策定委員会を開会いたします。

委員総数6名全員にご出席をいただき、「加賀市緑の基本計画策定委員会設置要領」第5条第2項の委員会成立要件を満たしていることをご報告いたします。

開会にあたりまして、建設部長 嶽野一義がご挨拶申し上げます。

◆嶽野部長

おはようございます。今年の4月から建設部の部長として配属になりました、嶽野一義と申します。よろしく願いいたします。

本日はリモートでの、これまでにない形式による会議となりましたが、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本委員会は、3月17日に第1回を開催しておりますが、それから約3カ月の間で、今回の新型コロナウイルス禍により、世の中が著しく変化しています。本来であれば、昨日と今日の2日間で、加賀市の水と緑の現況視察と本委員会を実施するところでありましたが、計画策定のスケジュールを考えると、延期することができなかったことから、ビデオ撮影による視察先のユーチューブ動画配信と委員会をリモートにて実施することといたしました。

加賀市では、スマートシティ化を推進していますが、今回のコロナ禍や災害などにより行動が制限される事態になったとしても、迅速で円滑に対策ができるベース作りとして、マイナンバーカード保有者を増加させる施策に様々な方向から積極的に取り組んでおり、6月14日現在では、約25.6パーセントと県内でもっとも高い申請率となっています。

スマートシティ化は、人口減少や少子高齢化が進む中、水と緑の保全・活用を継続する活路になるのではと考えていますので、委員の皆様におかれましては、スマートシティを意識しつつ、魅力的な加賀市を維持・継続できる「緑の基本計画」となるよう、様々な視点からのご意見、アドバイスを賜りますようお願い申し上げます、私からのご挨拶といたします。本日はよろしく願いいたします。

◆事務局

ここで、オブザーバーの欠席をご報告いたします。

国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課課長 川原克美様、石川県土木部公園緑地課課長 田村功司様は、議会対応等外せない公務があり、本日欠席のご連絡をいただいております。

本日は、お手元の次第に基づき、進行してまいりますので、ご協力の程、宜しく願い致します。

それでは、事前に送付した資料をお手元にご準備ください。

まず、「会議次第」、「委員名簿」、「第2回資料」そして、「加賀市緑の基本計画の素案」です。お手元にご準備いただいておりますでしょうか。

早速、議事に入りたいと思いますが、本日はリモート会議ということもあり、混乱を避けるために、発言する際、カメラに向かって手を挙げていただき、委員長に名前を呼ばれた方だけが発言するようお願いいたします。

それではこれよりの議事進行を鏝委員長にお願いいたします。

◆鏝委員長

現地視察ができなかったことはとても残念ですが、視察先の動画を思い出しながら議論したいと思います。今回は視察も委員会もリモートとなりましたが、皆さんの知恵を集めていただければと思います。よろしくお願いします。

議事に入る前にまず、前回の会議の復習をしたいと思います。事務局から簡単に前回の要点を説明してください。

◆事務局

前回の会議では、計画の構成や本市の水と緑の現況と課題について、ご意見をいただきました。主なご意見は、

- ・公園緑地が老朽化しているので、必要なもの、不要なものを仕分けして再編を図るべき
- ・緑の保全是、地球温暖化防止につながるので推進すべき
- ・古い公園緑地でも適切な綺麗で清潔感のある管理をすれば使ってもらえる
- ・生態系サービス（公益的機能）の記述をすべき
- ・委員会で加賀市の水と緑の現状を視察した方がよい
- ・新たな公園を整備する場合は、利用者のニーズに応えた訪れたいものとするべき
- ・市民が一丸となれるコンセプトをつくるべき
- ・柴山瀉とその周辺を活かすべき
- ・加賀市の特色を出すため、水に関する記述をもっとしっかりすべき

などです。

議事 1 水と緑の将来像について

◆鏝委員長

それでは議事 1 の水と緑の将来像について、事務局より説明をお願いします。

◆事務局

(説明)

◆鏝委員長

ただいまの議案 1 の水と緑の将来像について、ご意見、ご質問はございませんか。

◆宮永委員

2点お願いします。

1点目は、基本方針についてです。基本方針は、「しぜん」・「まち」・「ひと」となっていますが、加賀市は自然も町も素晴らしいので、人を育てないといけないと思います。人が育てないと、自然も町もだんだん廃れてしまうので、人が一番重要です。緑化活動に取り組む市民が、もっと増える手立てをお願いしたいと思います。

2点目は、目標の設定についてです。数値目標だけが掲げられていますが、今後のコロナ禍の新体制の中で、手立てを講じた上での数値設定なのでしょうか。

◆事務局

1点目の人を育てる・増やすという点については、基本方針3で掲げているつもりでしたが、書きぶりがまだ弱いというご指摘かと思しますので、記載方法を再検討したいと思います。

2点目の目標の設定については、説明が不足していると思しますので、どのような経緯でこの指標を設定したのかを記載したいと思います。また、コロナ禍については、不測の災害と捉えており、数値に反映するのは適当ではないと考えております。

◆宮永委員

目標の設定については、それでよいと思います。

基本方針については、「ひと」を基本方針1に掲げてほしいと思います。この計画は市民が見ることになるものなのだから、一番重要なものを目に付くようにしてほしいです。基本理念・将来像も「ひと」、「地域」、「自然」の順に記載しています。

また、前回の委員会で三島委員が仰っていたように、計画を冊子ではなくパンフレットに代えて、皆が読んでみたいものにし、読んだ人のモチベーションが上がり、活動したくなるようなものにしてほしいと思います。

◆鏑委員長

三島委員、今のご意見についてどうですか。

◆三島委員

緑の基本計画は市民にとっても身近な計画であるべきものだと思いますので、計画書がなかなか目に触れなかったり、市民が読んでも興味を持たなかったりすることは大きな課題だと思います。現段階の計画書でも大変充実したものだと思いますが、市民目線で見ると、読みたくはないものになっています。委員として工夫できることを考え、少しでも市民が読みたくするものにしていきたいと思います。

現状の課題として、担い手不足の顕在化、維持管理負担の増大が挙げられています。目標の設定には、公園緑地等管理の地元団体数及び加賀市もてなしガーデナーの登録数を増加が掲げられており、行政だけでなく市民の力を合わせて緑を育てる方針は、今の時代にふさわしい方向性だと思います。一方、維持管理負担の増大もとても重要な課題だと思いますが曖昧になっています。例えば、現状、維持管理費がこれだけ掛かっているから、このくらいまで下げていきたいということを目標として、提示すべきだと思います。具体的な数値を出すことで、市民の興味を引くと思います。お金の部分は曖昧にされがちですが、緑とお金はしっかりとかみ合ったものでないといけなないので、しっかりと位置づけるべきだと思います。

◆事務局

基本方針は、「ひと」を基本方針1、「しぜん」を基本方針3に修正を検討します。

本基本計画は、確かに読みにくいものだと思います。基本計画を読みたいものにできればよいと思いますので、課題と捉えて工夫を検討します。市民が読むとなると、パンフレットや概要版がよいと思いますので、それらは十分にデザイン等を気にしながら作りこんでいきたいと思います。

また、目標に維持管理費を入れる点ですが、現況で公園緑地・街路樹の維持管理費や公園施設の更新・補修費の推移についても触れていますので、目標値を設定することは可能だと思います。目標値の一つを維持管理費に入れ替えることや、維持管理費を追加して目標値を4つにすることなども検討します。

◆三島委員

現状で横ばいの維持管理費を、今後、人口減少が予想されているなかで、どれだけの数値にするかは示し難いと思いますが、維持管理費の増大が問題という認識なら、これをどれくらいに抑えるか、もしくは、何%削減するという数値目標が求められると思います。目標がないと行動に繋がっていきません。

◆鏑委員長

市民がどう緑に係わってくるかをベースに、行政任せでなく、市民がどうしていくと環境がよくなるかという内容で、目標設定を検討してもらいたいと思います。

他にご意見・ご質問はございませんか。

◆田畑委員

2つあります。

まず、基本方針2の「潜在力」という言葉はわかりにくいので、違う表現に代えた方がよいと思います。

次に、基本方針1の目標値は、これから設定していくのでしょうか。それとも、すでにある程度の数字を持っているのでしょうか。

◆事務局

基本方針2は、わかりやすい表現を検討します。

基本方針1の目標値となっている地区面積ですが、旧加賀市の時に制定した条例のため、山中地域は指定されておらず、担当課と指定について協議しているところです。難しければ、保安林の指定などを目標値にすることも考えています。

◆鏑委員長

「潜在力」という言葉は、これまで整備してきた緑を手入れしていくという内容を加えたら説明を補完できると思うので検討してください。

◆辻委員

前回の委員会でも申し上げましたが、現状の公園で本当に必要なものだけを残し、かつ、皆が望むものを作るべきだと思います。

金沢市や小松市ではバラやアジサイに特化した公園がありますが、例えば加賀市では、春にツツジが楽しめる公園や、初夏にバラが楽しめる公園、夏にアジサイが楽しめる公園というように、1年を通して楽しめる公園があるとよいと思います。いろいろな方が加賀市へ足を運んでもらえるように、公園を再編する際には、4～5箇所程度の公園に、このようなアイデアを取り入れた整備をし、管理してみてもよいと思います。

また、もてなしガーデナーの登録数も順調に増えているので、この調子で協力してもらい、皆で加賀市を盛り上げる方向でよいと思います。

◆事務局

再整備にあたっては、季節毎に楽しめる拠点となる公園にしてはどうかというご提案について、施策の方針で記載を検討したいと思います。

もてなしガーデナーの登録数は、目標が達成できるよう支援制度の拡充などを検討します。

◆鏑委員長

基本方針2の施策の中に「水と緑ネットワークの形成」が記載されていますが、現況の基盤として、既に水と緑のネットワークが形成されているので、その基盤を保全していくという記載が妥当ではないですか。

◆事務局

「活用する」や「磨き上げる」という表現に変更したいと思います。

◆中西委員

基本方針1の指標としている「自然緑地保護地区」は、上位法があるのですか。この地区は、届け出さえすれば、開発ができてしまうのでしょうか。弱い規制しかないのであれば、都市緑地保全法に基づく特別緑地保全地区に位置づけることも検討してはどうですか。

◆事務局

「自然緑地保護地区」は市条例に基づくもので、上位法はありません。規制内容については、市は届出に係る行為を禁止し、又は計画の変更等必要な措置をとるべきことを指導し、若しくは勧告することができます。また、これに違反したものを50万円以下の罰金に処することができます。

◆中西委員

50万円払えば開発できてしまうことになりそうですが、これまで乱開発が問題になったことはないですか。

◆事務局

担当課が異なるため断言はできませんが、問題となった事例は伝え聞いていません。ただ、条例を遵守しつつも、土砂採取のために山が切り開かれた事例はあります。

◆中西委員

民有地に都市緑地法に基づく規制はなかなか掛けられないと思いますが、土砂採取を禁止する区域の指定を目標に入れたらどうでしょうか。条例のみでは守ることができないのであれば、そのような記載もした方がよいと思います。

◆事務局

取組の中に都市緑地法等による土砂採取を抑制できる強い規制を視野に入れて検討します。

◆中西委員

具体的に「この場所を指定します」とまで記載しなくても、守るべき緑については強い規制を掛けるよう努力すると基本方針に記載しておけば、行動を起こす助けになると思います。

◆事務局

具体的に行動を起こすときの助けになるような記載を検討します。

◆鏝委員長

基本方針1の中で、丘陵地の保全が重要であると記載したらよいと思います。

◆中西委員

基本方針2で、「機能再編」という言葉が使われていますが、これは公園緑地の使い方を見直し、今までとは違う用途に変更するという意味ですか。

◆事務局

はい。別の機能も視野に入れるという考えです。例えば、テーマを持たない既存の公園を、子どもや親子をテーマにした児童公園にすることなどが考えられます。

◆中西委員

計画の構成が気になります。基本方針に続いて目標の設定とありますが、目標の設定は数値のみでバランスが悪いように感じます。大きな基本方針に対し、目標がこれだけしかないのかという印象を受けます。目標は数値だけである必要はなく、文章でも構わないと思うので、基本方針と目標を併せて記載してはどうでしょうか。

また、基本方針2の目標指標としている「公園内行為許可申請件数」は、都市公園法に基づく申請だと思いますが、都市公園以外の緑も、散歩などで活用されているものが多くあると思いますので、この申請件数をもって公園緑地が活用されていると解釈するのは難しいと感じました。目標値として記載するのは構いませんが、基本方針2の目標がこれだけとするのは不自然だと思います。都市公園以外の緑も含めた活用件数を数値目標に置き換えることは困難なので、定性的な表現で記載してはどうでしょうか。そういう意味でも基本方針と目標の設定を併せて記載した方がわかりやすいと感じます。

◆事務局

基本方針と目標の設定を併せた記載を検討します。

最近の計画は、具体的な目標値を示すことが多く見受けられることから、数値目標は示した方がよいと考えています。指標については、1つの基本方針に対して、煩雑にならない範囲で複数設定することも検討します。

◆中西委員

この3つだけを出すのであれば、基本方針の中に盛り込む方がよいと思います。分けて出すのであれば、基本方針1の指標は、都市緑地法に基づく規制の強い区域、基本方針2の指標は、都市公園の面積といったものの方がよいと思います。しかし、これらの目標値は示しにくいかと思うので、見やすく、かつ、バランスをよくするためには基本方針に目標を盛り込んだ方がよいと思います。

◆宮永委員

私は基本方針の中に目標の設定を盛り込む考えに賛成です。なぜならば、計画を見て行動を起こす人が増えてほしいと思うので、読む人にわかりやすくしてほしい。そうするとやはり、盛り込んだ方がすっきりしてわかりやすいと思います。

◆鏑委員長

基本方針にはいろいろな項目を記載しているので、指標として適切なものを再度吟味してください。

◆事務局

指標はこの3つに拘らず、基本方針毎に2～3つの設定も視野に入れて再検討し、次回お示しします。

議事2 施策の方針

◆鏑委員長

それでは議事2の施策の方針について、事務局より説明をお願いします。

◆事務局

(説明)

◆鏑委員長

施策の方針について何かご意見・ご質問はありませんか。

施策の順番に規則性がないようなので再考してほしいです。小さな取り組みから大きな背景とするか、その反対のどちらかだと思います。また、市民の関わり方も入れるべきだと思います。

◆宮永委員

計画を読んでいくと最後の方は疲れて思考が狭くなるので、人の部分を最初にし、次に町、次に自然という順番にすると、読む人の関心が向きやすいのではないのでしょうか。

◆田畑委員

基本方針2の施策1の取組②「歴史的な資源と一体となった風土の緑をランドマークとしたネットワークの創出」の説明の中に、「サイクリングロードの再整備」という記載がありますが、今は自転車やマラソンなど、健康増進の流れがあるので、もっとアピールした方がよいと思います。

また、基本方針2の施策1の取組③「行政施設、教育・文化施設、医療・福祉施設、コミュニティ施設における緑の拠点化」の説明で「緑化推進の例」が記載されていますが、わかりにくいので、もっとわかりやすい文章にした方がよいと思います。

◆事務局

自転車に係わる部分を表題に入れるよう検討し、また、全体的に文章をわかりやすくします。

◆田畑委員

サイクリングロードもすでに立派なものが整備されているので、活用しない手はないと思います。リノベーションやアピールも検討するとよいと思います。

◆事務局

サイクリングロードを結ぶ拠点となる既存公園に、駐輪に配慮した整備を検討するといった記載も盛り込みたいと思います。

◆鏑委員長

保全の取組の中に遊歩道整備の記載があつたりするので、整理し直した方がよいと思います。

また、次章の地域別の方針で詳しく記載することになるとと思いますが、柴山潟などの拠点となる場所をどうしていきたいかをもう少し記載した方がわかりやすいと思います。

最後に、視察先の動画を見て思ったことですが、加賀市には海岸や湖岸、湖岸でも人為的な護岸や葦の生えているところ、川もゆったりと流れているところや溪流など、多様な水辺があります。これらを取り上げて計画の中で見えるようにしたらよいと思います。

◆事務局

水の部分のストーリーが不足しているので、もう一度整理します。

柴山潟に関しては、施策の方針の中では、基本方針2の施策1の取組①に「柴山潟の遊歩道整備」を記載しています。地域別の方針でより深く触れるつもりなので、施策の方針ではこの程度の記載にしておきたいと思います。

◆鏑委員長

わかりました。他にご意見等はありませんか。

◆田畑委員

三島委員と中西委員に視察先の動画を見た印象を述べていただきたいと思います。

◆三島委員

私は、加賀市にはもう4年くらい通わせていただいているので、ほとんど見に行ったことがある場所でした。特に新しい発見はなかったですが、加賀市の公園緑地は、季節毎に面白さ・魅力があると思いました。この委員会は季節を跨いで行われるので、もしも次回以降、現地を皆さんと一緒に回る機会があれば、是非参加したいと思います。

◆中西委員

私は新しい発見だらけで、本当に綺麗なところが多くて感激しました。再編という話がありましたが、用途を区切らずに、今ある美しい自然をそのまま残してもらいたいという思いが強いです。遊歩道を人工的に造るのではなく、「水」が大きな資源なので、散歩できる道を増やしていただくだけで十分ではないかと感じています。加賀市を訪れる機会がありましたら、是非周りしたいと思います。今あるものが美しいので、それをしっかりとあまり人工的なものを加えずに残していくことが一番重要だと感じました。

◆鏝委員長

それではこれで議論を打ち切りたいと思います。

また、ご意見等がありましたらメール等で事務局にお寄せください。

その他

◆鏝委員長

その他、事務局より何かあればお願いします。

◆事務局

今後のスケジュールですが、前回お示ししたスケジュールでは、前回、今回、次回の全3回と説明しました。しかし、次回は地域別の方針をご議論いただき、その後、全体を通してご確認いただきたいと思います。よって、1回追加して、全4回の開催としたいと考えています。ただし、年内完成の目標は変えませんので、次回は8月下旬頃で調整したいと思います。

本当に申し訳ありませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。

◆鏝委員長

わかりました。それでは、進行を事務局にお返しします。

◆事務局

鏝委員長、ありがとうございました。委員の皆様には、不慣れなりモート会議にご協力いただきありがとうございました。

次回委員会は、日程調整をしたうえで改めてご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。

これもちまして、第2回加賀市緑の基本計画策定委員会を閉会いたします。皆様、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。